



無限姦獄 淫女 狂人

無限姦獄

ワス

WASU presents

RK COMICS



成年
コミック

RAKURAKU SHUPPAN



ワス

WASU presents

無限姦獄

無限姦獄



005 俺達の姫

031 身分違いの性教育

055 夢ミル舞台

083 暗闇に淫魔は蠢く

109 異界戦士アレイザ

137 異界戦士ティオン

171 異界戦士ナナツキ

目次

俺達の姫



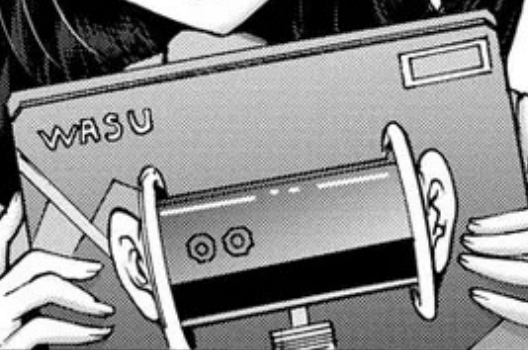
無限姦獄

うわーこれ
本当にもらっていいの？

ばあ



みんな
ありがとう!!



このマイク
すごい高いやつじゃない？
みんな無理しないでね？

嬉しいよみんな
握手 握手!

魔女猫たんっ!!

わい!!

ププレゼントの値段を
聞くのはヤボってもんだよ？

わい

わい

喜んでもらえたら
もう元取れてるからさ

うう…俺らみたいにな
キモオタに触れてくれる
なんて
天使すぎる…!

みんな全然
キモくなんて
ないってば

ぐす

そそれで
囁きボイスとか
聞かせてほしいな

私リア充とかパリピとか
苦手で…みんなといると
落ち着くの…だから

わい





俺たちだけの
天使で…!!

魔女猫たんは清楚で
オタツ娘で俺たちの…



いや…そんなこと
あるわけない!!

隣の男は誰だ…!?
まさか…



な…なんで…!!?



あ…そんな…!!



私に見せたい
ものって
なに…?

数日後



う嘘だ…
嘘だ…こんなこと
…

みみんな…



ス…





!? ちよ
なにをするのよ!
触らないで…!!

おまえがそういう
態度なら…

やめ…離しなさ
…きやあ!!

俺たちが今までおまえに
つぎ込んできた分…

からだ
身体で
払ってもらうぞ!!

ふふざけんじやないわよ
あんたたち頭おかしい
んじやないの!?

あ…やめろ…!
見るな見るなああ!!

ここっちは
準備万端だ…!

すごい…生の
オマンコだあ…!

いや! そんなもの
近づけるな…!!

よし…行くぞ
…!!

冗談でしょ…!?
やめ…本当に…

童貞卒業
だああつ!!



あぐう...!
これが生マンコ...
すげえ...!!

いや...あつ
ふざけんなあ...!

抜け...! 今すぐ
抜けえ!!

なんで...私が
キモオタなんかと...!!

おお...本当に
セックスしてるよ...!!

うるせえクソビッチ!
減るもんじゃねえだろ!?

ひゃっ!!



くあ……！こいつの中
気持ちよすぎる……
腰……止まらねえ……！！

おお……！
胸もマジで
柔らかかけえ……！！

ああ……エロい
エロイぞ
魔女猫お！！

げ限界だもう
耐えられない……
出る……！！

！？

だだめ……！
そんな……！！

やめろ……出したら
殺す……！
ぶっ殺……！！

うるせえ！
中に出すぞ……！

出る……！
あああつ……！！

ぶわわん！！

あゝすっげえ
マジで人生で一番
一番出したわ…!!

嘘でしょ…私
中出しされた…

ああんたたち
覚えておきなさいよ…

絶対に警察に
突き出して…

私が…こんな
キモオタなんか…

つ次は俺が
犯っていいかな…!?

おー
いけいけ!!

!? ななによ…こいつデカさ…!!

いくよおっ!!

やめ…そんな
入らな…

んぎい!!

うわあ…すごい
気持ちいいよお…!!

だろだろ!!

あつ! はあ…
やめっこの
豚…!!

そんな…
激しく
するなあ…!!

だだめ…これ
デカくて…
馬鹿力で…!

んあつ

あぐっ

はあ…!!

オマンコ…
壊れちゃう…!!

ああ…もう
我慢できねえ…

俺はこっちだ!
しゃぶりやがれえ!!

すげえ…口の中
温ったけえ…チンコ
溶けそうだ…!!

オマンコも
すごいよお…!!

んぶう!!

いいや…なんで…!!

こんな奴らに犯されて……
死ぬほど嫌な
はずなのに……

からだ
身体：熱くなるの
止められない：！！

もう限界：
出る！ 出ちゃうよ！！

俺も…もう
耐えられねえ…!!

はは：随分感じてる
じやねえかよ：！

イケ！そのまま
イツちまえ
クソビツチ!!

う嘘でしょ……!!
そんないやいやあ……!!

ああ…ギチギチで
すごい気持ちいいよ!!

あつはあ
だめ…!!
抜いて…

こんな…
本当にお尻…
壊れる…!!

アナルでも胸でも
感じてやがって…
マジで淫乱ビッチ
だなあ!!

いやあ…全身
貫かれてるみたい…
こんなの知らない…!!

あ…いや!
また…あつ

はあくる…あつ

うおっ!!

おらっへばってる
暇はねえぞ…!!

俺たちの気が済むまで
終わらないからな!!

またイキやがったな
これで何度目だ!?

ああっ!!



そして…



…どれくらい時間がたったの…？

もう頭
働かない…

あいつらは…？

最後にイッたのはいつ…？
ずっと寸止めで…

アノコが…おかしくなるくらい疼いて…！！

どうしてこんなことに…
オタクをからかっただけ…

ああ…楽になりたい…
気持ちよくなりたい…！！





おまえは最低だ…俺たちを
馬鹿にして金を巻き上げ
心を弄んだ……

でも俺たちも同じだ

上辺だけのおまえに
入れあげて…そのあげく
レイプだ……

本当に最低な
キモオタだ…
認めるだから

おまえも自分が悪かったと
認めて今度こそ俺たちに
ちゃんと謝れ

ももう…なんでもいい

気持ちよくなりたい…!!

そうすればすべて水に流して
気持ちよくさせてやる…!!

こいつらの言つとおりだ…
こんな目にあつても
私の頭はオチンポでいっぱい…

いつも空っぽな自分を何かで
満たしていた……

でも…こいつらは

私を許して…受け入れてくれる…

ぷはあ

……悪かった
今まで本当に…

あやまる…
だから

ごめんなさい
私を……

気持ちよくして♡

ドキ
ドキ
ドキ

ドキ

ぱあ

よし！
よく言ったな!!
任せろ……!
イカせまくって
やるからな!!

ああ……
早く早く……

喰らいやがれえ!!

早くオチンポ……!!

ああ……っ!
きたあ!!

オチンポやつと
きたああっ!!

アゲ

おら！どうだ
一番奥まで届いてるだろう？！

ああん！うん…
感じる…！オチンポ
いっぱい感じるよおっ！！

アナルも一緒に
かわいがって
あげるよ…！！

ああ…きてえ！！

お尻でも気持ちよく
なりたいのお…！！

んおおっ！！
きたあっ！！

口にも
チンポくれてやるぜ
そらあっ！！

2本挿ししゅぽっすこ…！！

んぶう…！！
おしゃぶり
しゅきい…！！

オチンポいっぱい
嬉しいい…♡！！

ああ…ちんぽっ!!

オチンポお腹なかの中で
擦れ合って気持ちいい
…っ!!

勃起オチンポ
きもひいい…!!

ぷちゅ…
れるっ!!

とんでもねえ変わりようだな
これが堕ちたって
やつか…!!

すごい…
めちやくちや
エッチだよっ!!

魔女猫…
おまえはやっぱり
俺たちの天使
だったんだなあ!!

あ…はあ！
私…もう…!!

お俺もだ
…!!

俺も
出ちやうよ…!!

よし…
いくぞ…!!

みんな一緒に
イッてっぜっ!!

あ…くりゅっ！
一番しゅいなの…!!

はあ…あつ
あああ…っ！





あいつ
また別の女連れてるな
これで何人目だ？

魔女猫も遊ばれて
たんだなあ……

もうどうでもいいよ
あんな奴

だって…

ねえまた
エッチして
遊ぼうよ♡

私にはあんたらが
いるもんね！

クソビッチと
キモオタ3人組！

◆END◆



身分違いの

性教育



無限姦獄



初めまして
水無瀬綾乃と申します

……こう言うとなんだけど

なんで君みたいな人がウチのバイトを？

社会勉強のようなものです

こういう普通の経験もしておいたほうが良いかと思ひまして

……一目見てわかった彼女は住む世界の違う人間だと……

少し迷ったが彼女を採用することにした

彼女はどんな仕事もそつなくこなしていった……

それでは失礼します

お疲れ様水無瀬さん……

あ……

いえ別に大したことはしていませんので

……彼女は

……

俺を見る

本当に
つまらなそうに

無気力
諦め後悔……

……無理もない
三十代後半 独身
冴えない 金も夢もない

……何も見たくない
考えたくない……

店長といってもただの
フリーター







ふふざけないで
何考えてるの……!

いやっ 本当……
気持悪いっ!

放して……
放しなさいよう

この変態いつ!!

ああなた……
自分が何を
していることか
わかって……

!

いやっ
汚い……!

そんなもの
近づけないでっ!!

ああ……
よくわかってるよ
おまえこそ覚悟しろよ

ひっ!

な何
出してるのよ!!

俺はすべてを
失うことになっても……

ああっ!!

おまえにこいつを
ブチ込んで
やるからなっ!!

きゃあっ!!

ズ

おうおう
奥までよく見えるぞ
お嬢様のマンコが……!

いや……
こんなの……!

見ないで……
見るんじゃないわよ!

ぜ絶対に許さない
あんたみたいなのが
私を……

っ!!

くぱあ

社会勉強
したいんだってな

たっぷり教えて
やるよ

人を馬鹿に
すると

ひ……っ！

や……
やめ……っ

どういう目に
あうのかを……

なあっ！！

はああ……！！
いやああっ！！



はあはあ……ん？
なんだおまえ
処女だったのか？

あ……

はあ……

いや……

たが……

ははは！
お高くとまって
男知らずか……
こりやあいぞ……



ああ……
そんなあ……

嘘……嘘よ
こんなの……！

いいいいぞ
いい表情だ……！

最低の初体験に
してやるからなあ！！

ああっはあ
いやあ……！

痛……
痛いっ！！

!? あはあ!!

抜いてっ
抜いてえっ!!

ひやっ
はあ……あっ

やめ……てっ！
やめなさいよお！

さすが初物マンコ……
すごい締め付けだなあっ！！

こんなの
だめ……絶対に！

だめっだめっ！
いや……いやああっ！！

黙ってろ……
んっ！

んぐうっ！！

はあ……ちゅっ
れるっ

ぐちゅっ
じゅるっ！

んっ
ぐぶ……
ふっんふ
んむ……っ！

ん……っ！
んーっ！！

なにに
するのよ……!!

俺の形に変えて
やるんだよお!!

刻み込んでやる……
おまえの……を……

んあ……くっ
はあ……!!

だめっ
激し……すぎっ

こんな……
あつこ
壊れる……っ!

アソコ
壊れちゃうっ!!



こんなのはどうだ？
入り口を刺激して
やるよ……！

いやあ……あ
気持悪い……！

んひっ！

びびっ びびっ

すい

ぎゅあ



しっかりと俺のモノを
覚えろよおっ！！

はあっ
そんな……！

深あ……
ああっ！！

ぶっ

ぶっ ぶっ



ああ……腰
止まらねえ
最高だ！

今まで抱いたどの
風俗嬢よりエロイ
からだ
身体してやがるっ！！

いやあ！

あぐっふ
ふざけないで……！！

やあ……抜け
抜いてえ！

やだあ……もう
いやあああっ！！

びびっ びびっ

びびっ びびっ

びびっ

びびっ

びびっ びびっ

びびっ びびっ

んあっあっ
だめ……やつ

そんな……身体中
刺激して……んくっ

ふあ……あっ
しつ……んっ
いつまで……

ああだめっ
もう……止まって……
止まってえ……っ!!

だめ……
お……

激し……

ほんま……
た……

ん……

なんか……

あ……
あ……

あぐ……はあ
いやあ……あっ!

はあ……ああっ
あああ……!!

オラッオラッ
もつとだ……!!

くらえ!
くらいやがれ

この生意気
メス豚あつ!!

これならどうだ!!

おっおっ!!

深あ!! あいあ
ああ!!

あつ届いて……
突かれてる……!

んい……い
一番……奥う
だめ……これ……!!

こんなの
だめえ……っ!!

はあああ……
もう限界だ

出すぞ……! 中に
たっぷり出して
やるからなあ!!

!! う
嘘でしょ……!!

そんな……
だめ……っ
ありえない……
そんなこと……絶対に
だめえ……!!

んひいっ!!

あつはあ……
いやあ……!!

やあ……もう
ゆるじてえ……!!

あやまる……
謝るからあ!!

お願い……!!
中にだけは
出さないでえ!!

うるせえ
淫乱女が!
おまえのココは
悦びまくってる
ぞおっ!!

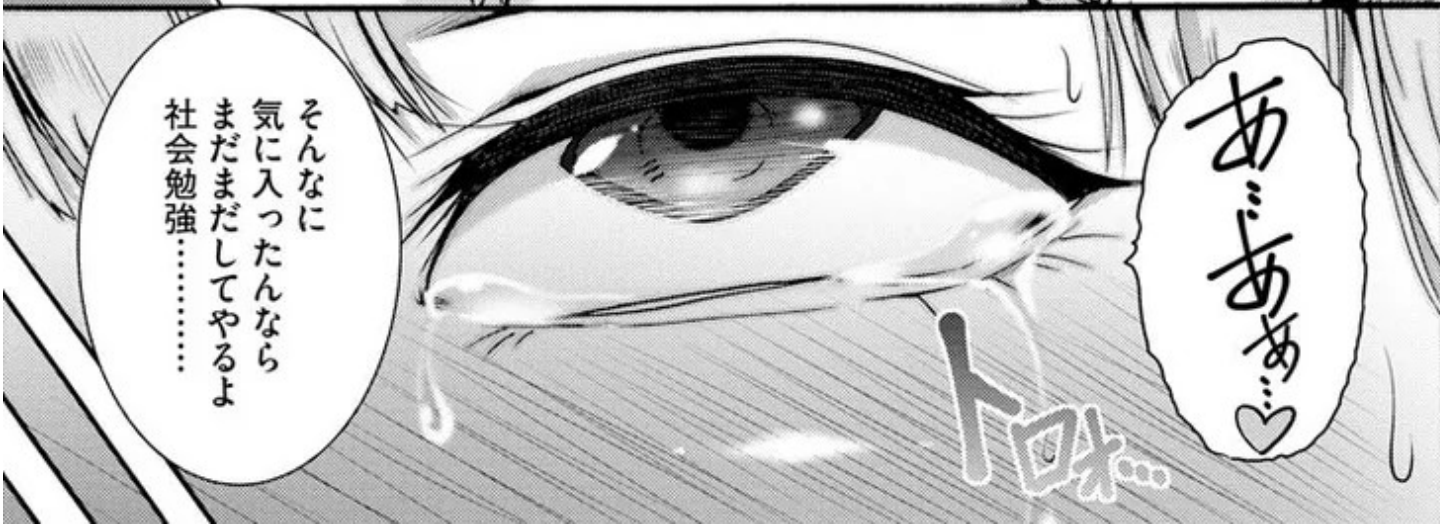
底辺男の子種で
おまえのマンコ
満杯にして
やるからなあ!!

やだあ……らめつ
だめなのお……!!

おっおちんちん
止めて……

んっんっんっん!!
はああああ!!





それから……

和巢書店

……お疲れ様です
店長

ボタン

ああ
綾乃もな

……それじゃあ
今日も

日々が
充実している……

中出し孕ませ
エッチで

いっぱい気持ちよく
してください♡

ふふ♡

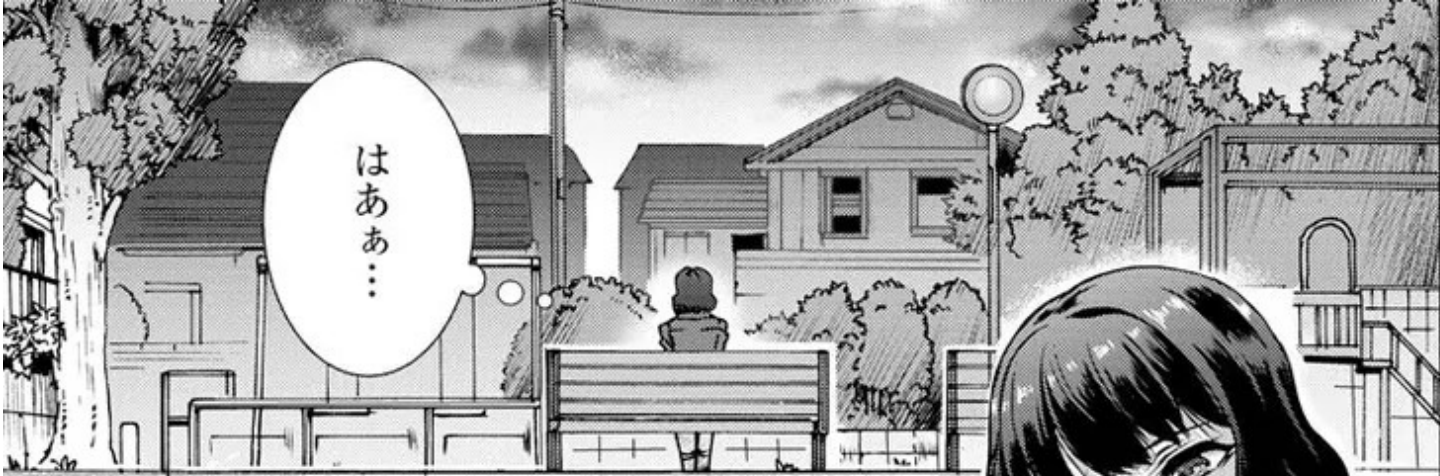
俺は生き甲斐を
見つけたんだ

◆END◆



夢舞台

無限姦獄



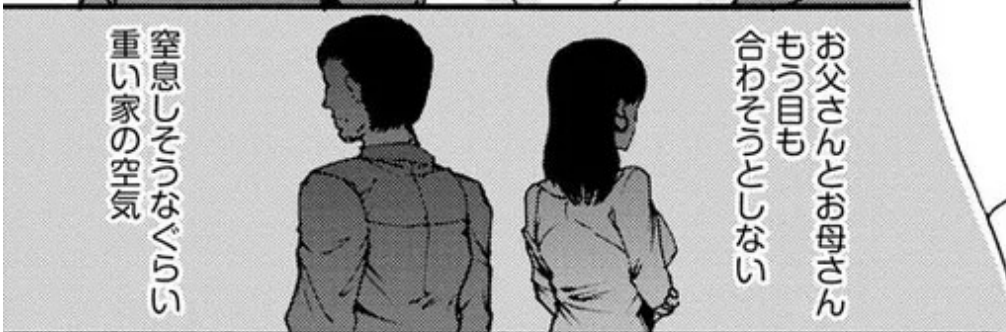
はああ...



...家
帰りたくないなあ



くらしき あんね
倉敷 曇音



窒息しそうなくらい
重い家の空気

お父さんとお母さん
もう目も
合わそうとしない



倉敷さーん



私の気持ちなんか
どうでもいいんだよね...

はああ









待って！
嘘嘘でしょ！

は裸！
何これ…
なんでこんなこと！

何が
起きてるの！



うわあ 男の人の
舐めてる...

あんな
いやらしく...!

ええ!? 待って
あれまさか...!!

そそれはだめ
だめだって...あ!

もうだめ
入っちゃあつ
ああ...!!

ああ嘘...!!
しちやつてる

セックス
しちやつてる!!

しちやつてる!!





な何言ってるの？



次は倉敷さんの
番よ



冗談…だよな？

目隠しするから
顔バレの心配は
ないよ





すつごく気持ちよく
なれるよ♡

…!



きやあっ!!

私倉敷さんに
すつきりしてもらいたいの



ね...



もじ

もじ

だからしかたなく…
しかたなくなんだから!

何が気持ちよくよ
そんなの
どうでもいい…
でも



お父さんとお母さんに
知られるのだけは
絶対に嫌

でも、ここまで来たら

えいっ!!

たぶっ

ぶるん

지3 지3

ためこんなの勢いに
任せていつちやわないと……

正気じゃ耐えられない……!!

おおお

路

지

す...

は恥ずかしい
よお……

うわー
やっちゃった！

見えないけど
すごい
視線感じる…

み見られちゃってる
おっぱいも
あそこも…!!

目で触られてる
みたい…!!

ひゃああつ!!

これから
どうすれば…

もじもじ

ひっ!?

おにやう!!



ひあ…
だ誰!?

わたし

あっ はあ
そんな…
んあはああ!

ひやつそ…

だめ…んっ
くうっ!

やだっ こんなの
聞いてない…!!

ひいつ!!

え!? 今度は
誰…!?

!? ひやあっ!!

あっ いや…!
んあっあ…

あひっ そんな
そこは…だめ
ひいつ

あ! やめっ
やめて…あっあっ
あああ…!!

はあああっ!!

じゅ
じゅ
じゅ

じゅ
じゅ
じゅ

がッ
がッ

がッ
がッ



何これ 真っ暗の中
からだ
身体中刺激されて……!

ひゃあ…
あつやああ!
本当に…うめっ
ひっ

あつ
やめ…!
はげし…すぎ
そんなあつ!

いやあもう…
だめっはあつ
んっ…!!

こんなの知らない
怖い…
怖いよお!

こんなの…
あつああ
んああ!!



だだめ…!
こんなの私…

耐えられ
ない…!!

いいの
我慢しないで
ほら…

イツちやえ

んおっ! おっ
おしりい!?

ひぎっ…んひい!!

あ…いやっ
止まらない…!!

きちやう
きちや…
ああ!!



何?今度は
何されちゃうの
...!?

あ...

ああ...だめ
頭がぼーっとして...

わ私
イカされちゃった
こんな知らない
大勢の人の前で...

はあはあ
あうう...



ああ いや…
犯されちゃつてる…！

おおっ しゅごお
そんなごりごりしちや...!!

ズッ!
ズッ!
ズッ!

おおかしくなりゆ
オマンコ壊れちゃうっ!!

ああ……
突かれる度に
全身震えて……

セックスって
こんなにすごいのお…!!

私いろんな人に見られながら
初体験
しちゃってるうつ!!

こんなの
私私…



あひやあ…!
だめっ今
そんなのしちや
あっはあっ!

おっぱい
だめええっ!!



だめっ
からだ
身体中…全部
感じちやつてる!

何も考えられない…
頭真っ白に
なっちゃうよお…!!

いやこんなこと
だめなのに
おかしいのに……!

なんで気持ちいいの
止められないのっ!?

ももう
私……

ん……ぶ

あむ……
ちゅっくちゅ

はあ

ちゅぶれるっ
ちゅくっ!

んぶっくぶっ
じゅちゅぶっ
ん……!

んぐっふっ
ふっっ!!

……
素直になって
曇音

!?

ここではみんな
夢を見てるの

ゆ夢…?

そう現実を忘れて
心の思うまま

ただ気持ちよくて
幸せな夢を

気持ち
よく…

我慢も嘘も
いららないの…
だから

何もかも全部
吐き出して!

聞かせて
曇音の心の叫び…

本当の
気持ちを!!

私…

私の
気持ち…

私は…!!

なり…
たい…!

もういい!
気持ちよくなりたいのお!!

もっと
もっともっと…

全部忘れちゃうくらい
気持ちよくしてええっ!!

んおおっ!!
激し…!!

あっしゅっ!!
んひいっ!!

ああオチンチン
ビクビクって…!

これ…きちやう
きちやうのお!!

んあっ! きてっ
はっ

あっ! くりゅ
しゅごいの
きちやう…!

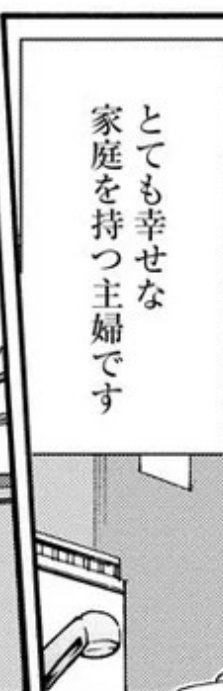
あめめ!!

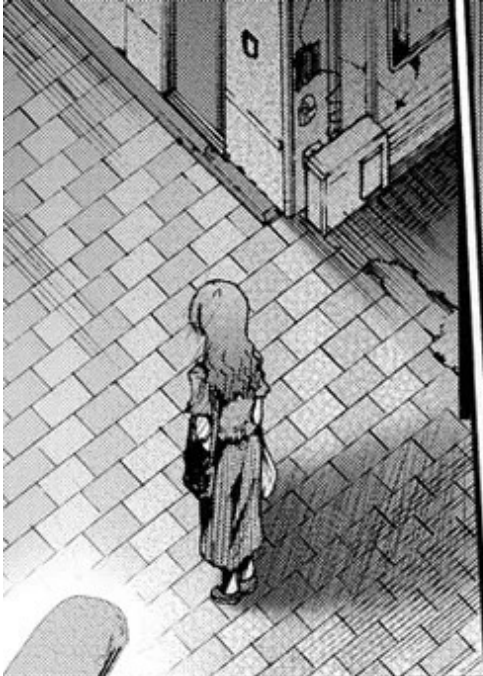


暗闇に淫魔は蠢く



無限姦獄



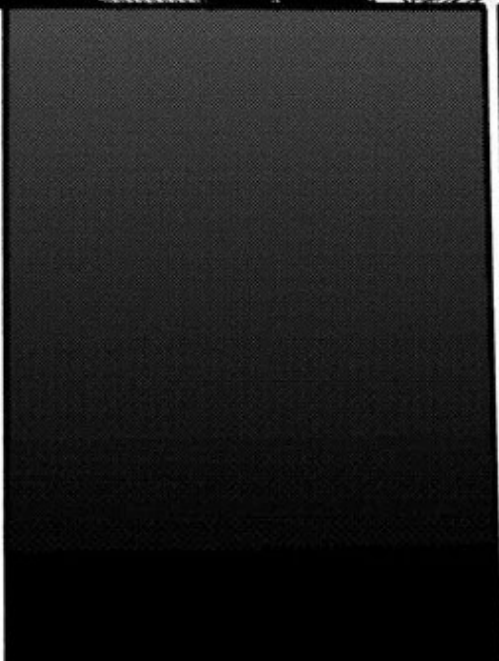


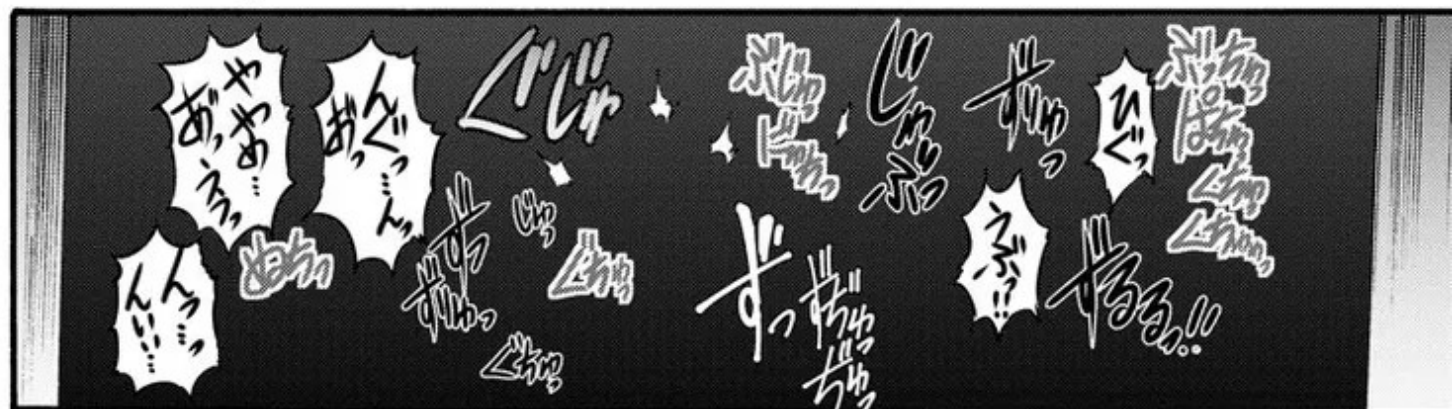
そんなことを
考えると私は…

ピタ…

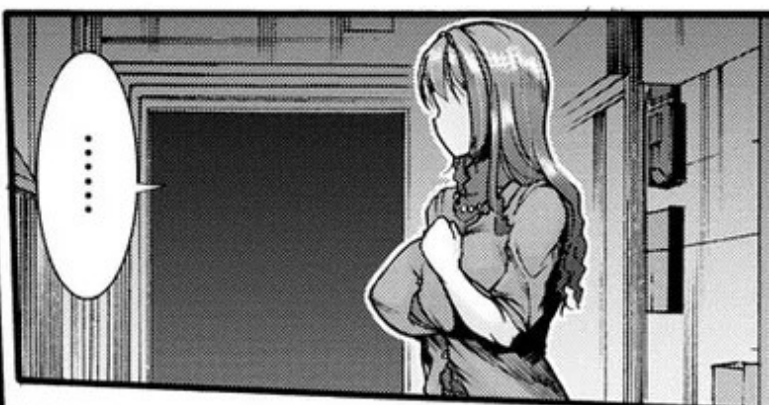
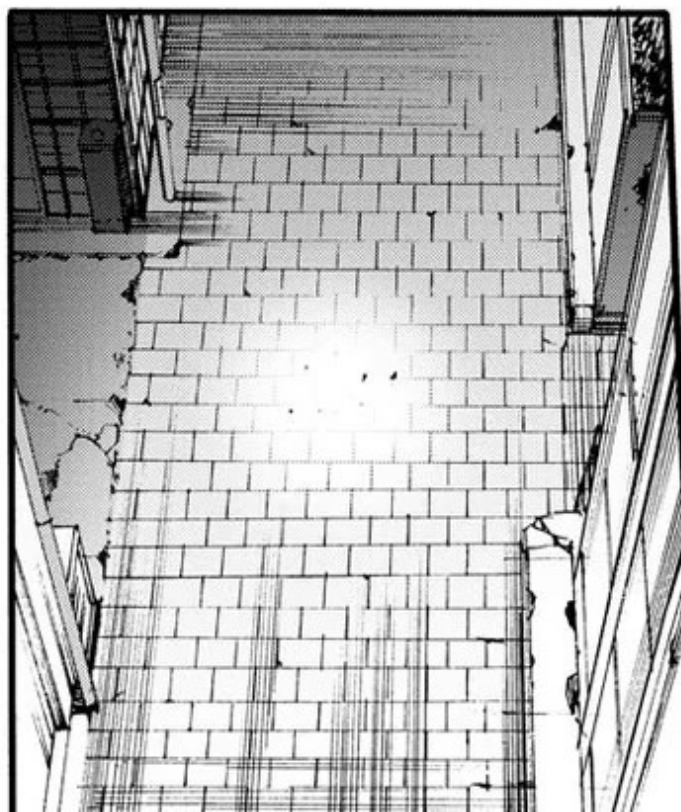
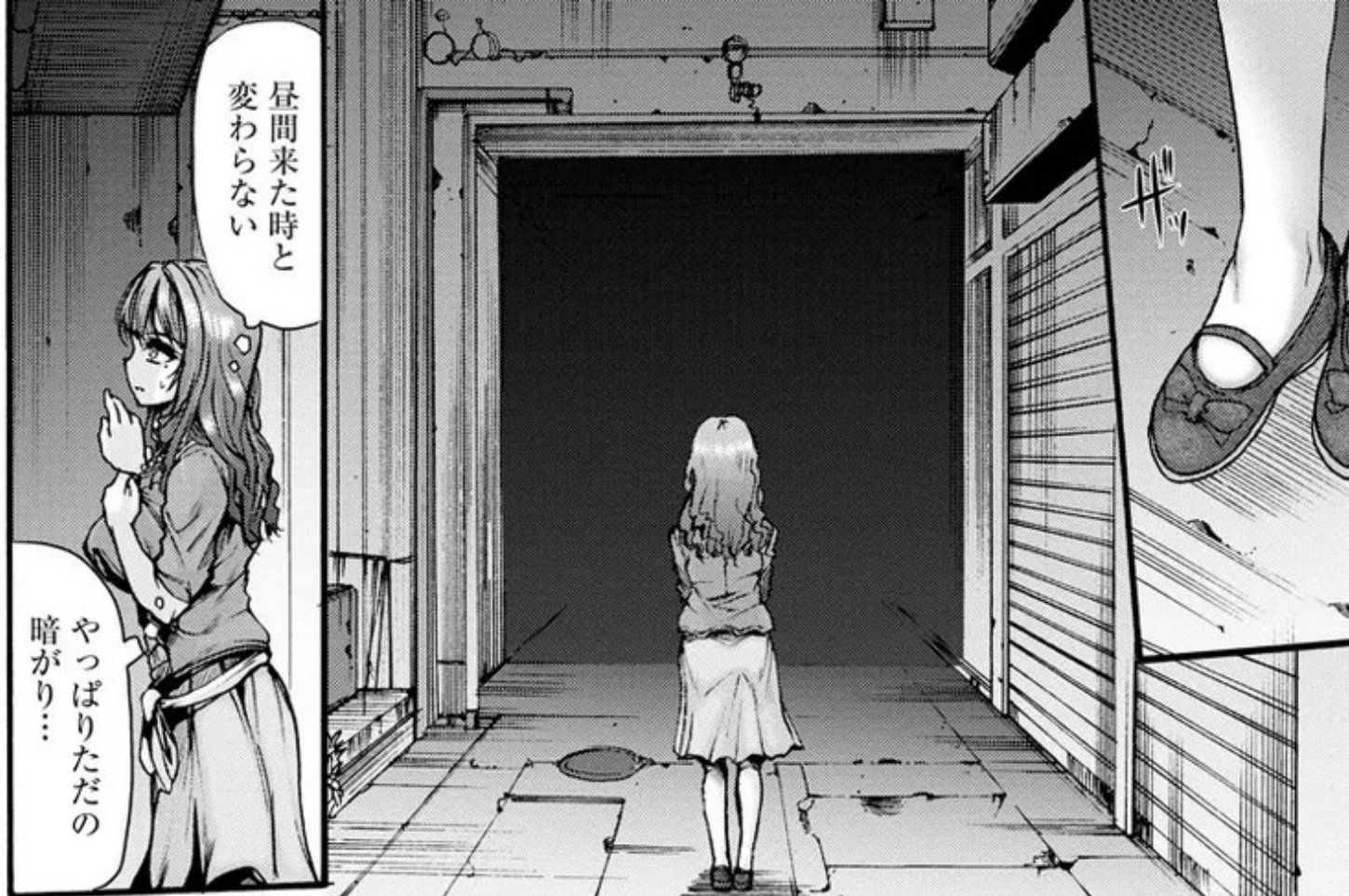


私はこれから先も人生を
この幸せの中で
生きていくんだと思います









ん…うう

!? ああ…
そんな
また!

ずる…

はっ!

ああっ
いやあ!

ち 違う
違うの…!

私 そんな
つもりじゃ…

やめて
離してえ!!

きやあ
だめえっ!!

ゆ 夢じやなかった
…ひや ひいつ!

じゅる

おん

ずる

もぞ

おん

もぞ

ずるん

おん

ぐい

ずる

ぐい





あつ
やあ……!

んああ!!!



くう ひつ!
大きい……

んっ んひっ
うううっ!!



あつ ひあ ああ
激しい……!!

んあつ いや
そんな奥まで
……!!

抜いて! こんな
こんなのためえっ!!



ひい だめ
やめてえ!!

それ挿れられ
ちゃったら……

また
私……!!

ズルル……



結局私はこの後も
意識を失うまで

あ..
いやあ

また私..

何度も何度も
イカされ続けて
しまいました..
そして

この触手に絡めとられ
逃げられなくなりました

私はまるで触手に
手繰り寄せられるように
闇に飲みこまれ

来る日も来る日も
犯され続けました

絶頂するたびに快感は
どんどん強くなってい
きました



紗玖葉

紗玖葉!?

あ! はい:
ごめんなさい

...どうしたんだ
ぼーっとして?

はい:
ちよつと疲れてて
でも大丈夫です



私はいつも
どおりですよ



なんか最近パート
多くないか？

はい…今月は
ちょっと忙しくて

夫に申し訳ない
こんなこといけない

気が付くと私は
触手に纏わりつかれ

何度もやめようと
思った…でも

…ごめんなさい

触手への恐怖 嫌悪感
夫への罪悪感…
どろどろにされていく
理性

私は身体^{からだ}だけでなく
心^{こころ}まで蝕^{くさ}まれました

下品な喘ぎ声を上げ
全身から汁を
撒き散らしていました

紗玖葉!!

…あ 何?

いや…何
じゃないだろ

なあ 久しぶりに
いいだろう?

え?

…最近は全然
してなかったし

紗玖葉と
愛し合いたいんだよ

キラ…

…それじゃあ

私はもう…

…ごめんなさい
今日は疲れてて…

え?

また今度に
しましょう…

…おやすみなさい
あなた

!!
い!!

!



来てくれたのね

…？ なんだ？

何を見ているんだ？

…やっぱり
間違ってたの

え？

私ずっと
ちゃんとした人間
妻にならなきゃって…

そう言い聞かせてきたけど
私には無理だったみたい
…だって

本当はそんなこと
くだらないって

ずずず…

思ってるんだから

あなたともそういうこと
本音で話し合えば
よかったんだけど

……？

あなたはそんな私を
きっと嫌がったと思うから…

でも彼は違うの



やっぱり 私を
満たしてくれるのは

あなただけ

あなたとひとつになりたい♡

あ…ひっ

な
なんなんだ、
あれは…

わろっ…

あの…
怪物は…!!

んはああ!!

!?

あぁ…そんな
いきなりいつ!!

でもずっとこれ
欲しかったのお…

もっと…もっと
いっぱいしてえ!!

ごめんなさいあなた 私ね…
もう覚えられないくらい

紗玖葉を離せえ!!

何をしているんだ
…離せ!

オマンコの形
変えられちゃう
くらい…

何度も何度も
彼に愛してもらってるの

お願い
邪魔しないで…

…え?

あ...すごいつ
気持ちいいっ!!

おお...わだしの
中...ぐじゅぐじゅってー!

触手でいっぱい
なってるうっ!!

オマンコとお尻
一緒にされるの
しゅきい...!!

おっぱいも...
いいのぉ!

もつと...もつと
触ってえ♡

はあ ああ
触手好き
もつとちようだい...

ずっと...これが
欲しかったのぉ!!

私を下ドロドロに
してええっ♡!!



触手じゃないと
味わえない…!!

身体全部…んっ!
隅々まで一緒に気持ちよく
してくれて…こんなの



ああ…好き
大好き

太くて逞しい
触手う…♡



ああ…最高!!
最高…!! おちんちん
なんかじゃ勝てない!!

ああ
そんな…

さ
紗玖葉…

イカせてくれない
あの人の小っちゃい
おちんちんなんか
いらないっ!

触手はあれば
いいいっ!!! ♡



はあ
ああ
ああ

ボク

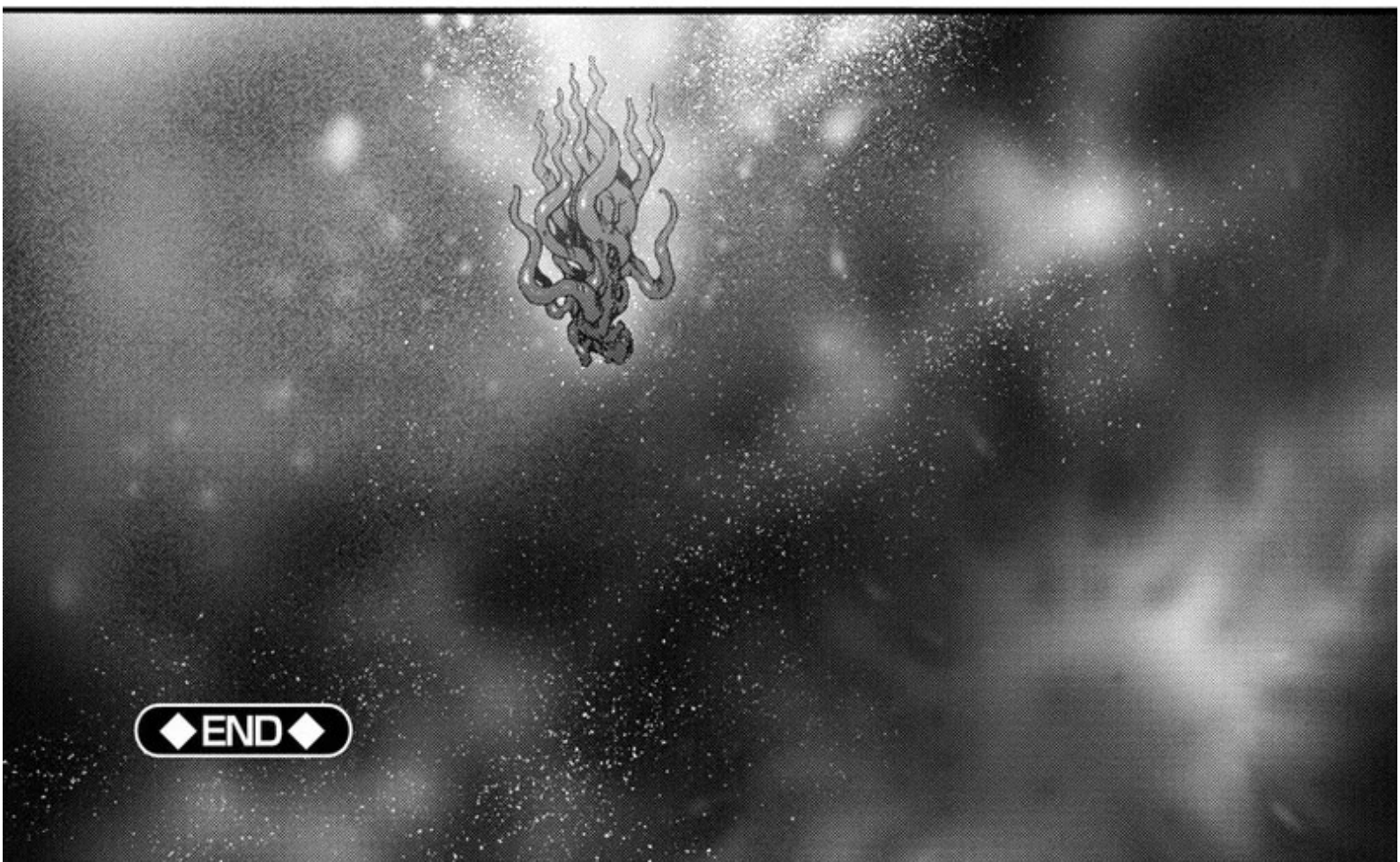
ズン
ズン
ズン

ズン
ズン
ズン

ズン
ズン
ズン







◆END◆



うるさい
黙れ

異界戦士
アレイザ



こちらアレイザ
任務を完了した

処理班を寄越せ

スダ

スダ



!



……
アレイザ



……
気のせいかな？



……か
最強の異界戦士

多次元管理局
本部

フッフ……

我々は君の働きを高く
評価している
今後とも期待しているぞ

…殺気やベエな
あいつの戦歴見たかよ
普通じゃない…

誰ともチームを組まないんでしょ？
孤高の戦士って感じだね…

わかっている

！
アレイザ…

あ本当！

あれは1匹残らずすべて
私が殺す

下等で醜惡な
不快害獣
「アンダー・アビス」

奴らの駆除が
私の任務

私はそのために
生まれ
育てられ
鍛錬し
戦い
生きてきた

私は
これから先も
あの肉塊共を
殺し続ける
……

次の任務の時

おかしい……

確かに奴らの気配がする
しかし姿が見えない

どうなっているんだ
これは……？





く……
なんだ……

頭が…



なんだこれは……!!

これはアンダーアビスの
結界空間……!!



毘か…!!

姿を見せろ
私を追い詰めた
つもりか!?

何匹いようがまとめて
ぶち殺してやる!!

はははすごい剣幕だな
少し落ち着きたまえよ

!!

……!
!?

ようこそ
アレイザ君

す…



歓迎しよう！私は
君に会うのを
楽しみにしていたんだ



なんだこの
アンダー・アビス
言葉を話している
……？

そう睨まないでくれ

私の名は「アビス・ピット」
私は君を持てなしたいと
思っている

いや関係ない
なんであらうと
アンダー・アビスは
……



私が殺す!!

はあ…
やはり
こうなってしまうか

ならば
しかたがないな
……

なんなん…
だ…?

!

か体が
動かない…!?

君の体の自由を
奪わせてもらったよ

何!?

以前に隙を見て君の体内に
私の体の一部を
埋め込ませてもらったんだ

本当はこんな手は
使いたくなかったんだがね
君たちは血の気が多すぎて
いけない

そんな態度でこられては
ゆっくりと話し合うことも
できないじゃないか

話だと…!? 化け物と
交わす言葉などあるものか

すぐに
殺してやる…!!

君が今まで幾多の
同胞を葬ってきた
ようにかい?

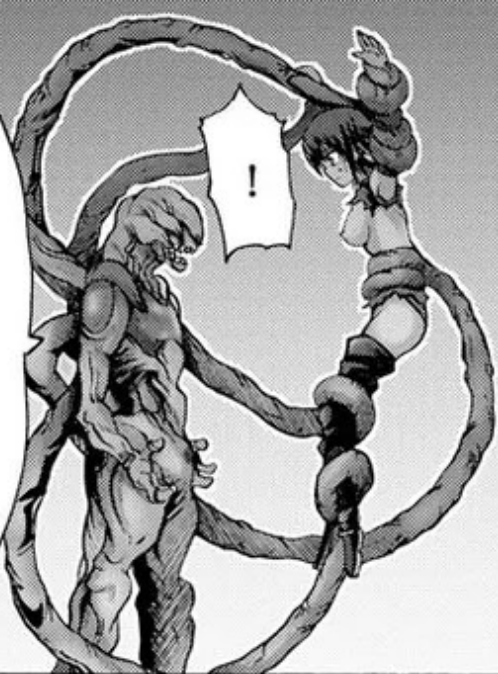
仇討でもする
つもりか下等生物
ふぜいが!!

いやいやそんなつもりはないよ
私はただ不快害獣という
謗りを受けてしまっている我らの
誤解をときたいのだよ…

…だから







君は
処女だろう？



なな…!!

すまない
君の身体からだのことは
手に取るように
わかる

初めての相手が
私というのは
幸運なことだと
思うよ…
なぜなら

快楽中枢の操作
無数の触手による愛撫
強力無比な媚薬の生成
…こと肉体を
悦よろこばせることに
関して私は

!!

全時空屈指の
テクニシャン…
「床上手」なのだから

ままさか
貴様…

私を
犯すつもりか
…？

精一杯頑張るから
気持ちよくなってくれたまえよ♡





やめろやめろ
ふざけるな
ありえない！
この私が…

ふざけるな貴様…
んあっ!!

こんな汚らしい
化け物なんか…!!



絶対に
殺してやる!!

こ殺す…!!

どうかな私の触手は？
暖かく吸い付いてきて

全身をマッサージ
されているように感じる
だろう？





あぁあ...っ!!

.....っ!!

おいしい声だ
気に入ってもらえた
ようだなによりだよ



んああっ!!



ふふざけるな
こんもので
快感などあるわけ
.....

き気持ち悪い
だけだ...!



なかなかできあがって
きたようだ...では

君のこども
かわいがってあげよう
ではないか

ややめろっ
何をする...!!

素晴らしい
さすが最強の異界戦士
ここも実に相応しい美しさだ

み
見るなあ…!!

絶対に許さない
殺してや…

!

なんだそれは!?
それをどうする気だ!?

やめろ! そんな汚らしい物
近づけるなあ!!

やめろ…
そんな大きいモノ
入るわけ…

!? あっ…!!
ん…やあっ
んふっ…あっ

んあうう!!

はああっ

ん…

んあ…っ
あっんう!!

ああ!!

なんだ…これ
体が熱い…

快感が
こみ上げて
と止まらない…

あ…頭が真っ白に
なつて…
な何も考えられない
………!!

だだめだ!
何をしている
しつかりしろ…!

やめろ早く
それを…抜けえ…!

びくん!!



んっ…くう！

やあ…っ
はあっ

もう…
はああっ！！



ふふ
とてもいい具合
だね…では

1度
スツキリさせて
もらおうかな

っ！！



やめろ！！それだけは…
それだけは絶対にだめだ！！

いいやだふざけるな！
こんな汚らしい奴の
ものが私の中に…
やめろ…！！

やめろ…
やめろおおお！！

やめろ
やめろ



ん…？

おいしい反応だね
満足してもらえたよう
なによりだよ…

あ…あああ♡



ははっ……失禁するほど
よかったのかい
それはそれは……

あああ……

そんな
私……

でもてなしは
まだ始まったばかり
だよ

なにせ私の
絶倫っぷりもまた
全時空……

なので我らへの偏見を捨て
受け入れてもらえるまで
……

……っ!!

いつまでも何度でも
かわいがってあげよう
じゃないか

やめ……もう
やめえ……

あれからどれくらいのか……
時間がたったのか……
もう何もわからない
私はずっと犯され
続けている

意識がなくなるまで
イカされ続け また
イカされて起こされる
終わることのない凌辱

やめてえ
……

もうイカさないで
……あつ♡!!

ああ……無理
もうムリ!!

イク……イクツ
またイツっちゃう!!

アンダー・アビスへの
不快感などとうに失い
何も考えられなくなった私は
ただ……

絶頂を迎えるたび
快感は際限なく
あがつていき私は
喘ぎ声や愛液を
垂れ流し続けた



ふう少し張り切りすぎて
しまったかな…しかしまあ



そして私は…



目の前の快楽に
身を委ねるしか
なかった



あ…ああ♡♡



喜んでもらえたようで
何よりだね

こちら本部
アレイザ
応答しろ!!

どうした!? なぜ
応えない!?
おいアレイザ!!

アレイザ君
お仲間が呼びだよ

応えなくて
いいのかい?

んっんふっ♡!!

んちゅ...んんっ
れる...んふっじゅぶっ♡!!

ん...れろ
んちゅっはふう

ちゅるっれるお♡

んん...!!
ぢゅっ...ぐふう

じゅるるっ!!
ぐじゅっ!! れるっ♡

んっ！んふっ
ぐぷっ！！

んっんっ…！！

んっ…♡♡！！

アレイザ君
君はもう体を自由に
動かせるはずだ

お仲間の所に
帰ってもかまわない
んだよ………？

いい…もうそんなの
いいから…

早くおつきいチンポ
ここにちようだあい♡

んああっはああっ♡！！

く。ば。あ

んっ

ぽん

ああ♡

はっ

はっ

んあはあ

はっ

はあ
はあ
はあ

あっ！ あっこれ
すばい...いい...!!

ズン

んっ！ めいめい
んぶうー

いいっ...! 大きいっ
ああ...んっ あんっ ♡!!

んっ！ めいめい
んぶう ♡!!

いいっ！ めいめい...!!
これ...すばい...!!
気持ちいい...!! ♡

あっ！ めいめい...
またしゅわのくるっ...!!

♡ モーアイ♡
♡ ああ♡

ズン



これから私は
アビス・ピットの
肉奴隷として

ここですーっと
かわいがってもらうんだ♡

ふふアレイザ君と
仲よくなることができ
て本当に良かった…
さて

次はどの異界戦士を
おもてなししようかな
……………？

to be continued

アレイザさん……あなたは
一体どこへ行ってしまったん
ですか……？

アレイザさんが
任務から
帰ってこなくなっ
てもうひと月……
何かあったんだ

内容はわからないけど
本部に最後の通信が
入ってから搜索も
打ち切られちゃった
……なんで？

だめだめだから
ネガティブ禁止
だってば！

絶対やるって
決めたんだから

……私ひとりで大丈夫かな……

はあ……

私が

搜索範囲をもっと
広げよう……

アレイザさんを
見つけ出すって!!

私はもういち度
あの人に会わなきゃ
いけない

「あの時」から
救われるために……

異界戦士
ティオン



いいや...
やめて...



おおねがい...
やめて...やだよ...
死にだくな...い...



やだ...やだ...
だだれ...か
...だれか...

誰か助けてええええ!!!

ひっ
ガッ
おあああ

きりりり



アアレイザさん

ドゥッ



私は……!

アレイザさん
本当に私……



ごめんなさい……
私……なんでこんな……





貴様はもう
異界戦士を名乗るな



臆病者に戦場に
いられても邪魔な
だけだ



あの時から私の中で
アレイザさんが
どんどん大きくなって
いった……

あの人の言葉はまるで
呪いのようで私は
逆らうように
ひたすら戦い続けた



私がアレイザさんを
助けるなんてことができたら
きっと私は……



ああああ……



あ……あ……



何!? 何何何……!?



!?

ようこそ私は君を
歓迎するよ

初めましてティオン君
私は「アビス・ピット」という
者だ

いいやとにかく
戦わなくちゃ……

さっそくだが
ティオン君
君は……

なにこれ……この
アンダー・アビスが喋ってる
!?

ふつまあよくある反応だね
別にいちいち傷ついたり
しないが

いやああああ!!



え………？



アレイザ君を
探しているのだろうか？



喜んでほしい



なん…で？

君彼女が消えた
あの次元ですつと
彼女を探し回って
いただろうか？
見えて
不憫に思っ
てね



罨………？
救援を呼んだほうが
でも……

どういふこと
……？



アレイザ君はいるよ
……この先にね

どうしよう
どうしたら……



グク…
ティオン君

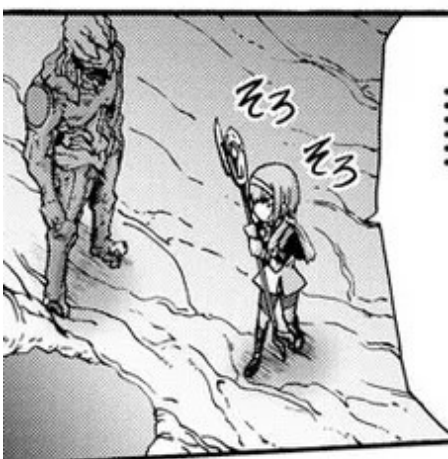
絶対に君がアレイザ君を
見つけるんじゃないや
なかったのかな？



アアンダー・アビスに
そんなこと……！



みよ 妙な
マネはしないで
……



アレイザさんがいる
……この先に？
アレイザさんに
会える……？



アレイザさん……
アレイザさん
……





……え!?

んっんふ…
くちゅ……♡



あぁっいっ♡!!

え……
え……!?



ズル

んんちゅ……
んぐっんんっ!! ♡

ズル

ズル

くちゅ

じゅちゅ

ぬちゅ



ピット…しょ触手も
いいけどやっぱり
直接……

まあ待ちたまえ
今客人を招待したところだ
君を探しにきたそうだが？

はあ!?

だ誰だ
あれ!?

ティオン君だ
なんだ君たちは
顔なじみでは
なかったのか

ななんでいきなり
ここに連れてくるんだ
……!?

こうすればいろいろ
説明が省けて
都合がいいんだよ

アレイザさん!!!

アレイザさん……?
ななんでアンダー・アビス
と………?

!

な何が……
何があったんですか？
なんで……

どうしてこんな
ことに……!?

……

ととにかく
本部に戻りましょう
……
きっと大丈夫ですから
早く……

私と一緒に
……

戻らない

アレイザさん
……？

わざわざ探してもらって
悪いが私のことはもう
忘れてくれ……



私はもうだめ……
だめなんだ……

私はもうこいつなしでは
生きていけない……

今も体が疼いて
このチンコのこと
頭がいっぱいなんだ……

な何
言つて……

今の私は
ただの
アビス・ピットの
変態肉奴隷
……

私はもう
異界戦士じゃない



う嘘……だよ

アレイザさんは
言わない……
そんなこと……

アレイザさんは強くて
孤独で冷たくて……

こんなの
アレイザさん
じゃないっ!!!



……ティオン君
その物言いは

あまり感心しないな



っ!?

ややめて……
離して……!!

彼女は幸せだよ少なくとも
戦わされ続けていた日々よりね
……さあ見てあげるんだ

うう……



ズイ

!!

本当のアレイザ君を

ん……んっいいい……

いっつあっあっ!!
♡

あっすぽっ……やっぱり
いいこれっ！
おっきいっ……!!

あっ！あっ！ダメ……
こんなのんあっ!!♡

アレイザさん……

んつきもちいい……
ギモチいいよおお
……っ!!♡

あっ 最っ高!!
あっ！いいっ！
チンコいいっ!!

私の知っているアレイザさんは
もういない私の目の前にいるのは
全然知らない人だった……

その人は誰も寄せ付けることも
なかったその体を
絡みつくように交わせ



ほとんど開くことのなかった
その寡黙な口から
淫らな喘ぎ声を出し続けていた

誰よりも嫌悪し
殺し続けていた
怪物とのセックスに
夢中で



目の前に私がいるのに
信じられないような
蕩け顔で繰り返した
何回も絶頂していた
……………

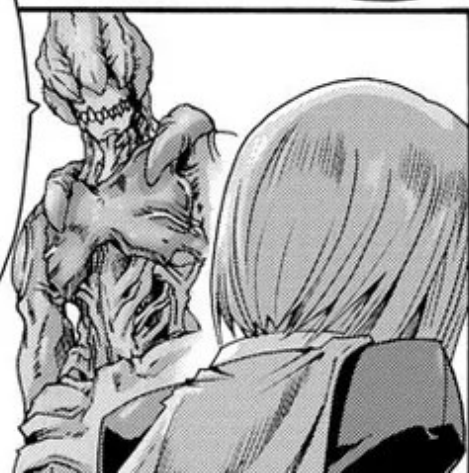
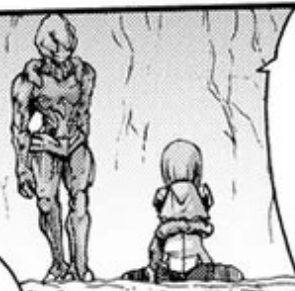
そんな貪り食うような
セックスは私の前で
延々と行われ続けた

本当に
何度も何度も
……………



……アレイザ君は
休ませてきたよ
……さて

ティオン君……



どうしたのかな？
そんなに体を火照らせて

!!

そそんなわけない
……
ふざけ……ないで

アレイザ君の痴態を
見て欲情してしまった
のかな？

必ず……
駆除するから……!!

……そうか
そういうつもりなら君にも

おもてなしが
必要のようだね

いいやつ!!
やめて……
何するのっ!?

ではまず手始めに
拜ませてもらおうか
……

私は……あなたを
絶対に……
ゆる……さない……!!

その大きく
美しいモノをつ!!

っ
!!!

わ私にもアレイザさん
みたいなことする
つもり……!?

ややめてっ
私にさわらないでっ!!

ひっ!! ややだっ
気持ち悪いっ!!

やめてっ!!
本当にやだからっ!!

やめっ……離してっ!!

ん……やだっ やめて……っ!!

ちよっ
待っ……

ややめ
……て……!

ん……

んん……んっ!!





うそ……うそだよ
こんなの
私……
初めてなのに
……

挿れられちゃった
……
アンダー・アビス
なんか……



お願い……もう
許し……気持ち悪いの
……あれ？

き気持ち悪い
……のに……

ぬい……

ほう君はなかなか
素直じゃないか

き気持ちいい……？
なにこれ？
か体が変になって……

アレイザ君は
もっと抵抗していたが

これ気持ちよすぎ
なん…なのこれ
こんなの…無理……

ではよい物を注いで
あげようこれはまた
信じられないような
快感だよ？

えっ!?

だめええええつ!!!

ややめ…そんなの
だめ……っ!

だめ…本当に
何も…か
考えられない……!



アレイザ君も初めての時
おなじように失禁していた
からね

……え？

あの……
アレイザさんが
……？

…君はいろいろあって
溜め込んでしまっ
ているんだよ

ズルル…

！

精一杯やらせてもらっ
思う存分発散して
くれたまえよ

だめ……そんな
そんなこと
されたら

私……私は……



ああ……
アレイザさんも
こんな気持ち
だったんだ……

強い異界戦士になって
アレイザ君に認められる……
いいかいティオン君

そんなことでは本当には
救われはしないんだ
……私が教えてあげよう

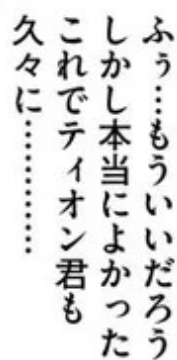
気持ちいいので
全部が満たされて……
もう……だめ

ああ……堕ちるっ
堕ちるっ 堕ちるっ
堕ちちゃうう……!!

ああ……溶けていく
身体も

心も……

無限に続く女の悦び
本当の幸せを……!!



あ……またあつ
あつひぬ……!!

やっ
パン
ズズ
パン

あ……それ
ヤバっ……ああぐ!!

ん
んんんん ああああ
ズ
くちゅちゅ!



ん…んちゅ

じゅっ
じゅるる…っ

ん…くぷっんじゅ
んちゅる……

……

んふっ…んっ
ちゅっれろ……

んっんんっ！
ちゅるるっ！！♡

じゅるるる

ぺろ
れろ

れるっちゅく……ちゅっ
ちゅぴ……ちゅぽっ！！♡

じゅっ
じゅっ！！

ちゅっ……ちゅぽっ
じゅるっ

ちゅっ
れろ

んちゅ……ちゅくっ
ちゅるるっ！！♡

ぬち



大きければよいという
ものじゃないだろ……

ティオン君君の乳は本当に
上質だなこの感触はまさに
別格といつていい

さわ
さわ
あ♡あ♡♡

ムッ



おっと
アレイザ君
拗ねないでくれ
そういう意図は
なかったんだ

グイッ

ち違……っ！

なら……

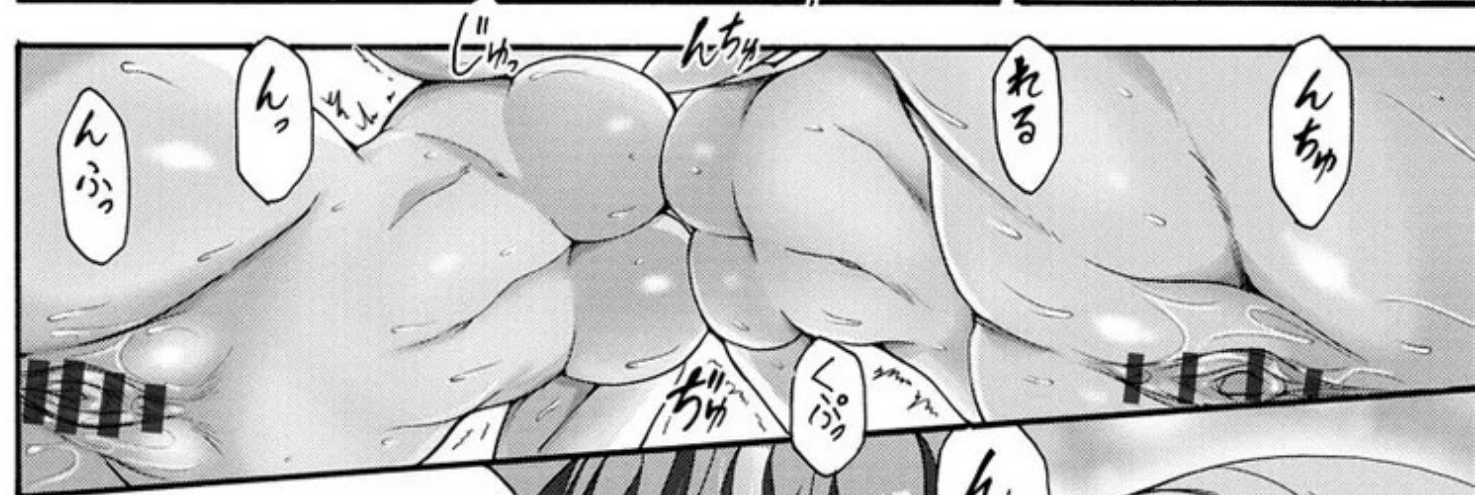


ふたりで仲よく
してもらえるかな？

……アレイザさん
一緒に……

……しかたないな

グイッ





いいっーいれっー！
すっごー……!!♡



あっああ……おっおっ
……!!♡

アアレイザさん
……かわいい
すごい感じてる

私……
本当に嬉しいの
……だって

アレイザさんも私も何も
変わらない……ただの女の子だったって
わかったから……

あーっだめっだめっ
!!

くくる……ちゅのへん
……!!あっ！あっ！

イク……あー!!





……今さらだが
ティオン君
君はこれからどうする
つもりかな？

私はもうずっと
ここにいます……
ここで……





アレイザさんと一緒に
あなたの肉奴隷として

幸せに暮らします♡



よかった……
またひとり異界戦士を
戦いから解放することが
できた……
いつかきつとくる

我々が争わずにすむ
世界が

to be continued



よし！
動きを抑えた…!!

今なら
いける…!

止めを頼む
ナナツキ!!



あミソは私に
かからないように
してね

大人しく
くたばりなさい…
私の輝かしい
未来のために

まったく汚らしい
呻き声ね

ギガッ



あゝ終わった
終わった!
終わった!

当然☆!!

よし! やったな
ナナツキ...

私たちならこんなの余裕っしょ!
まあ勝って当たり前前って感じ?

にしてもこいつらマジで
死ぬ時まで汚ったないわね
早く処理班呼んじやって

早く帰ってみんな
打ち上げでもしよう!

異界戦士
ナナツキ

多次元管理局本部

すごいじゃないナナツキ！
あなたの討伐成績
断トツトップだったわよ

いや～みんなの
おかげだって
チームワークの
勝利ってやつ？

それもお前の力だよ
もう最強の異界戦士は
お前ってことで
誰も文句ないだろうよ！

そう？ ふふふ
あそう言えばさ～

どっかいっちやった
・元最強さんの
話しちゃう？

まだ見つかって
ないんだってね～

アレイザね…搜索指令も
打ち切られたしもう
死んだんじゃないの？

ふふ…ここの話
なんだけども実はなんかね～
あいつアンダー・アビスに
捕まっちゃったらしいよ！

マジでマスケよね～あんなにイキってたのに
まあ調子こいて単独行動ばかりしてたから
自業自得って感じだけだね～！

ああの…
ナナツキさん…

ん？

そそういう言い方は
ちよつと可哀想
なんじゃないかな…

一応仲間なんだし
その…なんというか
……

……

あれ？もしかして
ムカツカセちゃった？
だったらごめんね……

あなた最近入ったばかりの
人よね嫌だったらぜんぜん
抜けてもらってもいいよ？

ひとりで任務に参加できるように
私から頼んであげようか？

あついやいや！
嘘です…嘘！
じょ冗談ですよ……！

空気読めなくてごめんなさい
ずっとこのチームにさせて
ほしいです……！

そう？ならよかったじゃあ
これからも仲よくしようね

当然よ…私の家は
多次元管理局創立に係わった
名家中の名家

私はこのコネと
こいつらチームの力を
使ってどこまでも
のし上がる！

目障りだったあの女が
消えた今がチャンス
私は……

…誰も私には
逆らえない……

全次元一の
勝ち組になってみせる

反応があったのは
この付近のはずなんですけど
……

あいつらって本当に
こういう辛気臭い場所
ばかりに
出るのよね……

いつも通り私たちが
奴らを抑え込むから
止めはよろしくな！

ありがと
みんな頼りにしてるね

まあ今回も
うまくいくでしょ！
あんなキモイ害獣……

私たちの出世のために
殺されるのが運命だって
……

!? えっなに……!!
どうしたの!?

敵……!? そんな……
どこから……!!







初めましてナナツキ君
私は君に会えるのを
楽しみにしていたんだ

ギョッ

久々の戦いで疲れただろう
向こうでゆっくり
休んでいてくれ！

なにによこいつ!?
アンダー・アビス!?
なんで喋って!?

ていうか...な
なんであんたたち...
...マジでなんなのよ!?

はい...
行きましょう...!
アレイザさん?

.....

...やっぱりだめだ
気が変わった
ビット! こいつに
手を出すな!

グッ...

ちょ...今さら
何言ってるん
ですか...?

こいつは今から
浮気をするつもりなんだぞ
黙ってられるか!!

しょうがないですよビットは...
私たちが愛した人は
そういう人なんですから...

だけど...!!

.....!!

ふたりでしっかり
話し合って決めた
じゃないですか...

.....!!

後でそいつの百倍
かわいがってもらうからな!!

…私もよろしく
お願いしますね♡

ス…

…なんなの
あれ…!?

彼女たちは
私の肉奴隷に
なったんだよ

!?…は!?

もう彼女たちに
戦ってほしくなど
なかったんだが
私の役に立ちたいと
言っただけで聞かなくてね…

何…言っ

彼女たちに圧倒的快楽と愛を
あげることと戦いを捨て
幸せになっただけで聞かなくてね…

君を愛することに決めたんだよ
ナナツキ君…!!

ス
ス
ス

そして私は
今度はね…

!?



きやつ!!
ちよ...つ

ちよつ...いやつ!
は離せ...!
き気持ち悪い!!
離しなさいよつ!!

ふふ...君のこの
美しい褐色の肌...
存分に堪能させて
もらおうでしょう

いやあつ!!

くそつ...いやつ
力...強いっ...!!

ふざけるな!! なんで
私があんたみたいな化け物
なんかに...!!

ナナツキ君
君をもっとよく
見せてくれ...

な...っ!
ま待ちなさい!!
何する気...

いやあつ!!
きやつ……!!

ふふ…慎ましくて
実に綺麗な形をしている…
素敵だよナナツキ君

やめ…っ
ふざけるな…!!
見るなっ!!
見るな見るなあつ!!

くそ…
殺す…!! 絶対に
ぶっ殺して…!!

な何よそれ!?
何出してんのよ…!?

ふふ…これには私の自慢の
媚薬成分が含まれている
さあその胸で…

じっくり味わって
くれたまえ!!

んいっ?!

くっ…んあっ!!

君は今までお仲間と
一緒に数多くの同胞の
命を奪ってきたようだね…

しかも何やらよからぬ
野心を秘めているようだ…
だが!

く…あつ…!!
ややめ…
離…しな
さいよあ…っ!!

ちょ…な
何よこれ…胸
溶けそう…!! 体中
ジンジンして…!!

ちょ…あつ!!

そんなものより私が
もっと素晴らしい「女の幸せ」を
感じさせてあげよう

ちよっ……！
そこ……っ
み見るな……！！

ここの化け物……
私を誰だと思って
……！！

広げるなあっ！！

ひゃあっ！？

ふふ……湿ってきたよ
褐色と綺麗なピンク色が
実に美しい取り合わせだ……

ああ……っ！
ややめろ
そこ……はあっ！

くそ……っ
触……るなあ
気持ち悪い……！！

くう……んっふっ！
ゆ許さない……
覚えて……
おきなさい……よお！！

なんですよ……
アソコも胸も……
体中触れられるたびに
痺れが……！！

ふふ……さけ……こんな
化け物なんか犯られて
感じるなんて……っ！！

ママジで早く
逃げないと…
このままじゃ…!

ふふふ…そろそろ
よいころ合いのようだね

な…!?

ま待ちなさいよ
何よそれ…!?
何出してるの
よおっ!!

いいや…
誰か助けて…
助けなさいよおっ!!

ありえない…
この私が…化け物
なんかと…っ!!

誰か…誰か
助けて…っ!!

いやあ!!やだやだっ!
無理っ本当に…お願い…

ああんた
まさか…
だめっ!!

それだけはマジで…
絶対にだめえっ!!

やめろって
言ってるでしょ!!



っ!?

ああ…んあつ!
ひあつ…ちよう
まつ…!!

なにに…
これえつ!!

やあ…あつ!
は激し…すぎ…
んあ…っ!!

んっ…
んいっ!!

ややばい…やばい…
なんなのこいつの動き…

初めてでもわかる…
こんなの普通じゃない…!!

はぁ!!

はぁ!!

オマシコの一
番奥…
体の真ん中まで
刺激が…

でも…
全然痛くない
…ていうか…
これ…

ひあぁっ!!

胸も一緒に
かわいがってあげよう…!!

あ…だめ…!!
今乳首…だめえっ!!

んあ…っ
あ…だめ…
あんっ…これえ!!

や…ばっつい…!!
すご…なによこれ…
こんなの…知らないいつ!!

突かれる度に
意識が飛びそうになる…
き気持ちいい…っ!!

だめ…っ
止め…てえ!
あひっおあ…っ!!

マジで…
なんも考えられない
こんなの…!!
あ頭
おかしくなる…!!

だだめ……
気をしつかり……!
私は……最強の
異界戦士なんだ
……こんな奴に
負けてたまるかあ!!

ふふ……ずいぶん
気に入ってくれたようだね
いつでも果ててくれて
かまわないんだよ?

ひい……い
今……出されたら
ああ……!!

ま待て……
中出しとか……あつ
そんな……!

そうか……なら私の方が
ひと足早くスッキリさせて
もらおうかな?

はあ……あつくう……!!
ふざ……けんなあ誰か……
あんたみたいな……
化け……物なんかにい……!!

わだしは
イカない……っ!!

いやいやいやあ!!
やめえ……!!イ
イカない……!!

んあ……
はあ……っ?!

はははっ…君もお漏らしか
喜んでもらえたようで
何よりだよ

これでナナツキ君も
アレイザ君とティオン君と
おそろいだねえ…

ひ…ひぐ…うつ
お願い…もう…

ん？

やめて…
もう許して…
お願い…だから…

何を言っている？
私はこんなところで
やめるような
無責任な男ではないよ

そう……

ナナツキ君が本当に幸せになるまで
何度でも…何度でも
気持ちよくなってもらうよ…

…っ!!

いやあ…やめて
…そんなの…っ

いやあ…ああっ…
…助けて…!!

う…っ!!
いつまでやってるんだ…
まだ終わらないのか!?

もう…アレイザさん
大人しく
待ってましようよ

そんなに
あいつのことが
気に入ったのか…?

ナナツキさんに
襲いかかったりしちゃ
だめですよ…?

…でもナナツキさんも
きつと私たちみたいに
なっちゃうんでしょうね

…ああ

耐えられるわけがない…
あいつの…ピットの前じゃ…

どんな女も
ただのメスに
なるしかない…

そして…あの人なしでは
生きていけなくなる…

きこ
♡

わ
♡

んあああつ!!

あつ! あひつ…
だめ…あんつ!
おおつ! おほおつ!!!

ん…
んぶつ!?

んーっ! んーっ!!
んぶう…んつ!
んあつ…んいいっ♡!!!



んっ! んんっ!
ぐぶっ... んぶう!
んっ... あっ
んぶうっ...!!

いあ... んあっ!
んじゅっ... くっ んんっ!
イツ... んん...!!

もっただ...!!
氣を失っている場合では
ないよ ナナツキ君!!

んあっ... あっ!!
また... くる...
イグツイ... ツ!!

んっ! んんっ!
ぐぶっ... んぶう!
んっ... あっ
んぶうっ...!!

んっ! んんっ!
ぐぶっ... んぶう!
んっ... あっ
んぶうっ...!!



ももう…
ワゲわがない…!!
私…ずっとイッてる…
体戻らない…!!

…ナナツキ君
私は君を助けたいんだ

イキナゲに
なんじやう!!

あまのイグ
もう…

君はかりそめの仲間に
— 囲まれ策を講じて
ただ高みを目指していた!

ななで:

なんでこいつの言葉
…こんなに…

だがその先の未来に
本当に意味があるのかい?
君はいつまで戦い続ける
つもりなんだ…?

君はただのか弱い女の子だ!
私は君を…ありのままの君を
愛したいっ!!

なんでこんなに
心も体も
満たされちゃうのっ!?

ああ…
気持ちいい…
もうずっとこのまま
ほしい…♡!!





ああ…溶けてく…私の…

夢もプライドも…

もう…いい…何もかも…

気持ちよければなんでもいい…!!!

あははは…♡!!!



あつ! んあつ…
ああんっ!!
いい…触手いいっ!!
デカチンポ
すきいっ…♡!!!

ああっ! もっと
もっと気持ちよく
してええっ♡♡♡!!!



素晴らしい!! ナツキ君も
私の肉奴隷になってくれるね…?
なら私の名を呼んでくれっ!!

ああ…っ
なるう…っ!
ビット…
すきい…!!♡

ギモチイイツ♡!!
しゅきいっ…♡!!
もっと…ずっと私を
愛してええ♡♡♡!!!

んあ!!
はん!!
んあ!!

あっ！あっ！
くりゅーっ…今までの
一番しゅーの
きちやうっ…っ♡!!!

おおおっ！！いいっ！！
あっ！んああっ！！
イク…♡!!!
イグイグイグッ♡!!!



ん…んぷっ
くちゅ…ちゅっ

はふ…んっ
ふうう…ちゅばっ!

ん…くちゅっ
じゅく…ちゅっ!

……

はあ…んふ
すき…んつれる…
ちゅっ…んぷっ!

んぷっ! んぷっ
じゅぷぷっ! くっ
れる…すちゅっ♡!!

んぷっ!

れる…ぴちゅっ!
ぐっすちゅちゅ…ふーっ
んは…ぷっぐじゅぷっ♡!!

まあ…
ですよねえ…

~~~~~!!

んっ! んっ!  
かぶっ! ちゅばっ…  
んっんふう♡!!

アッ!!

ドク!!

じゅぽ

やん

ガッ!!

おい!  
いつまでやってる  
早く代われ!  
ちよ邪魔しないで!  
私がしやぶり終わるまで  
待ってなさいよ!

ふふたりとも  
落ち着いて…

ふふ…  
焦ることはないよ

たぶん

すん

ふん







みんな聞こえてる？  
今までありがとねえ！

私肉奴隷になれて  
最高に幸せだから！  
じゃあバイバイ♡



…よかったこれでもう  
脅威になる異界戦士は  
いなくなったはずだ…

…このまま  
戦いがなくなって  
平和が訪れてくれれば  
いいんだが……

新たに確認された  
アンダー・アビス希少種の  
詳細だ

……以上が異界戦士  
消失の経緯そして



これはまた  
面白い進化を遂げた  
もののよう……  
じやがまあ

「計画」のことを考えれば  
これはこれでよいのかも  
しれんのではないかえ？

……その意見もわかります  
しかし不確定要素なのは  
間違いありません

やはりここはきちんと  
生態を研究するべきです

……………

……どう対処するにしろ  
ことは一介の異界戦士の  
手には余る……

……ここから先は



きみたち  
異界幹部の  
出番だ



あの者の  
「お持て成し」は

もう行われることは  
ない…

◆END◆

## あとがき

どうもお初の方は初めまして そうでない方はお久しぶりです ワスです

この度は「無限姦獄」をお手に取っていただき誠にありがとうございます  
2冊目の単行本になるのですが やはり感慨深いものがあります

現代劇からファンタジー、さらに続き物とかなりカオスな内容になっていますが  
「快樂墮ち」というテーマで一貫はしていると思いますので楽しんでいただけたら幸いです

サイベリア様のアンソロジー作品はどれも思い思いに描かせていただき自分らしさの出た  
作品に出来たのではないかと考えて描いていてとても楽しかったです  
そして今回収録させていただいた同人誌「異界戦士シリーズ」ですが  
最初の作品「異界戦士アレイザ」は自分が初めて描いたエロ漫画ですので  
その作品がこのような書籍にさせていただき  
改めて発表できることが不思議でもあり、  
また色々な巡り合わせに感謝をしなければと  
思うところでもあります

この場を借りて改めてご協力いただいた  
出版社様、担当様に感謝を申し上げさせていただきます  
本当にありがとうございました

それではこれからも美女と怪物、快樂墮ち等を信条に  
活動していきますのでどこかで見かけましたら  
どうかよろしくお願いします  
最後になりますがここまで読んでいただき  
本当に本当にありがとうございました  
それではまた！

2019年9月 ワス。







RK COMICS CYBERIA SERIES

## 無限姦獄

2019年10月20日 初版第一刷発行

著者

ワス

発行人

小澤 誠昭

発行所

株式会社 楽楽出版

〒102-0082

東京都千代田区一番町29-6

☎03-3222-6516 (編集部)

☎03-6865-6162 (出版営業部)

[www.rakurakushuppan.com](http://www.rakurakushuppan.com)

印刷所

大日本印刷株式会社

本書の無断転載・複写・上演・放送を禁じます。

また、本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。

本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することは、たとえ個人や家庭内での利用であっても、著作権法上認められておりません。

本書の掲載作品はすべてフィクションです。

実在の人物・事件・団体等には一切関係ありません。

©WASU 2019 printed in Japan

ISBN978-4-86704-407-0

